

山口県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員の委員候補者の推薦・応募の結果

委員区分	推薦を受けた者又は応募した者									推薦した者				
	No	氏名	年齢	性別	職業	経歴	主な漁業種類	従事年数	漁業者又は漁業従事者	団体等の名称及び代表者名	設立目的	業務内容	構成員数 構成員の資格	推薦又は応募理由
漁業者又は漁業従事者委員候補	1	松浦 栄一郎	49	男	漁業	平成8年～ ふぐはえ縄漁業に従事 平成24年 岩国市漁協 理事 平成28年 岩国市漁協 筆頭理事 平成30年 岩国市漁協 組合長 平成30年～ 瀬戸内海海区漁業調整委員会委員	はえ縄	24年	○	玖珂郡水産会 会長 松浦栄一郎	組合員の経済的、社会的地位の向上と水産業の生産力の推進を図り、地区水産業の発展を期する	水産業に関する経営及び技術の向上、漁業に関する情報の提供・交換、漁業道徳の昂揚と漁業秩序の維持、会員の連合、協同組織の発達促進、委員相互に関する諸施策・施設、館員相互の親睦・融和	岩国市及び玖珂郡、柳井市管内の漁協（支店） 正組員 544人	平成8年にふぐはえ縄漁業に従事。平成24年に岩国市漁協理事、平成28年に同漁協筆頭理事、平成30年に同漁協組合長を務め、地域漁業者の中心的存在として長年活動。特にふぐはえ縄漁業の操業実態や各種漁業の漁場利用調整に豊富な知識と経験を有し、瀬戸内海海区漁業調整委員会委員や山口広島連合海区漁業調整委員会委員として県内及び対県漁業調整に尽力。地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	2	松野 利夫	64	男	漁業	平成8年～ 一本釣漁業に従事 平成8年 柳井市漁協組合長 平成18年～ 山口県漁協柳井支店運営委員長 平成11・21年 柳井市市議会議員 平成16年～ 瀬戸内海海区漁業調整委員会委員	一本釣	25年	○	玖珂郡水産会 会長 松浦栄一郎	組合員の経済的、社会的地位の向上と水産業の生産力の推進を図り、地区水産業の発展を期する	水産業に関する経営及び技術の向上、漁業に関する情報の提供・交換、漁業道徳の昂揚と漁業秩序の維持、会員の連合、協同組織の発達促進、委員相互に関する諸施策・施設、会員相互の親睦・融和	岩国市及び玖珂郡、柳井市管内の漁協（支店） 正組員 544人	平成8年に一本釣漁業に従事。同年、柳井市漁協組合長、平成18年から山口県漁協柳井支店運営委員長を務め、地域漁業者の中心的存在として長年活躍。特に一本釣漁業の操業実態や各種漁業の漁場利用調整に豊富な知識と経験を有する。第18期から瀬戸内海海区漁業調整委員会委員を務め、さらに伊予灘連語海区漁業調整委員会委員、山口広島連合海区漁業調整委員会委員として対県漁業調整にも尽力。地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	3	小田 貞利	62	男	漁業	昭和61年～ ごち網漁業に従事 昭和62年 東和町漁協 理事 平成11年 東和町議会議員 平成14年 東和町漁協 組合長 平成16年～ 周防大島町議会議員 平成17年 山口県漁協東和町支店運営委員長	ごち網	34年	○	大島郡水産共励会 会長 桑原 一吉	組合員の経済的、社会的地位の向上と地区水産業の発展を期する	漁業に関する経営及び技術の向上、漁業に関する情報提供・交換、漁業権の管理・漁業調整、会員相互に関する	大島郡周防大島町内の漁協（支店） 正組員 359名	昭和61年にごち網漁業に従事。昭和62年に東和町漁協理事、平成14年に同漁協組合長、平成17年から山口県漁協東和町支店運営委員長、平成21年から山口県漁協理事を務めるなど地元及び県内漁業者の中心的存在として長年活躍。

委員区分	推薦を受けた者又は応募した者									推薦した者				
	No	氏名	年齢	性別	職業	経歴	主な漁業種類	従事年数	漁業者又は漁業従事者	団体等の名称及び代表者名	設立目的	業務内容	構成員数 構成員の資格	推薦又は応募理由
						平成 21 年 山口県漁協 理事 平成 16 年～ 瀬戸内海海区漁業調整委員会委員						諸施策・施設、漁業道徳の昂揚と漁業秩序維持、会員の協調・協同組織の発達促進、その他目的達成上必要な事項		特にごち網漁業等の操業実態や各種漁業の漁場利用に豊富な知識と経験を有する。第 18 期から瀬戸内海海区漁業調整委員会委員、さらに山口愛媛連合海区漁業調整委員会委員、山口広島連合海区漁業調整委員会委員として県内外の漁業調整に尽力。地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	4	森友 信	65	男	漁業	昭和 57 年～ 建網漁業に従事 平成 15 年 室津漁協 組合長 平成 17 年 山口県漁連 専務理事 山口県漁協室津支店運営委員長 平成 17 年 山口県漁協 常務理事 平成 24 年～ 山口県漁協 組合長 平成 20 年 瀬戸内海海区漁業調整委員会委員 平成 28 年 瀬戸内海海区漁業調整委員会会長	建網	23 年	○	光熊毛水産振興会 会長 新岡 元	光熊毛統括支店における漁業振興対策、漁場環境対策、魚価経営安定対策等を関係行政機関等と一体となって推進し、もって組合員の生産の向上を図る	漁業振興、流通改善対策、水産基盤整備、漁業後継者対策、漁家経営案 t 寧対策、その他水産振興に必要な事項	光市及び熊毛郡内の光熊毛統括支店 正組合員 223 名	昭和 57 年から建網漁業に従事。室津漁協組合長、山口県漁連専務理事を務め、平成 17 年から山口県漁協室津支店運営委員長及び山口県漁協常務理事、平成 24 年から山口県漁協組合長を務めるなど地域漁業者の中心的存在として長年活躍。特に建網漁業や延縄漁業の操業実態や各種漁業の漁場利用調整に豊富な知識と経験を有し、瀬戸内海海区漁業調整委員会委員として漁業調整に尽力。さらに瀬戸内海海区漁業調整委員会会長として愛媛県及び広島県並びに大分県との連合海区漁業調整委員会委員を務め、対県調整に尽力。地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	5	内藤 武	56	男	漁業	昭和 63 年～ 小型機船底びき網漁業に従事 平成 21 年～ 山口県漁協四代支店運営委員長 平成 24 年 瀬戸内海海区漁業調整委員会委員	小型機船底びき網	32 年	○	光熊毛水産振興会 会長 新岡 元	光熊毛統括支店における漁業振興対策、漁場環境対策、魚価経営安定対策等を関係行政機関等と一体となって推進し、もって組合員の生産の向上を	漁業振興、流通改善対策、水産基盤整備、漁業後継者対策、漁家経営案 t 寧対策、その他水産振興に必要な事項	光市及び熊毛郡内の光熊毛統括支店 正組合員 223 名	昭和 63 年に小型機船底びき網漁業に従事。平成 21 年から山口県漁協四代支店運営委員長を務め、地域漁業者の中心的存在として長年活躍。特に小型機船底びき網漁業の操業実態や各種漁業の漁場利用調整に豊富な知識と経験を有する。瀬戸内海漁業調整委員会委員として県

委員区分	推薦を受けた者又は応募した者									推薦した者				
	No	氏名	年齢	性別	職業	経歴	主な漁業種類	従事年数	漁業者又は漁業従事者	団体等の名称及び代表者名	設立目的	業務内容	構成員数 構成員の資格	推薦又は応募理由
											図る			内の漁業調整に尽力。さらには山口愛媛連合会区漁業調整委員会委員、山口広島連合海区漁業調整委員会委員として対県調整に尽力。地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	6	市川 秀次	66	男	漁業	昭和 52 年～ 小型機船底びき網漁業に従事 平成 5 年 光漁協 監事 平成 17 年 山口県漁協光支店運営委員 平成 29 年 山口県漁協光支店運営委員長	小型底びき網	43 年	○	光熊毛水産振興会 会長 新岡 元	光熊毛統括支店における漁業振興対策、漁場環境対策、魚価経営安定対策等を関係行政機関等と一体となって推進し、もって組合員の生産の向上を図る	漁業振興、流通改善対策、水産基盤整備、漁業後継者対策、漁家経営案 t 寧対策、その他水産振興に必要な事項	光市及び熊毛郡内の光熊毛統括支店 正組合員 223 名	昭和 52 年から小型機船底びき網漁業を主体に建網漁業にも従事。光漁協監事や山口県漁協光支店運営委員を務め、平成 29 年から山口県漁協光支店運営委員長を務めるなど地域漁業者の中心的存在として長年活躍。特に小型機船底びき網漁業や建網漁業の操業実態や各種漁業の漁場利用調整に豊富な知識と経験を有する。地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	7	田中 友之	73	男	漁業	昭和 36 年～ 小型機船底びき網漁業に従事 平成 17 年 山口県漁協新南陽市支店 運営委員 平成 23 年～ 山口県漁協新南陽市支店 運営委員長	小型底びき網	59 年	○	都濃水産振興会 会長 西村幹男	漁業生産力の増進と経済的・社会的地位の向上等その水産業の振興を図り、会員の共同利便と相互扶助を行う	水産に関する経営及び技術の向上、会員の知識向上を図るための教育及び一般情報の提供、漁業道徳の昂揚及び漁業秩序の確保	山口県漁協周南統括支店各支店 正組合員 123 名	昭和 36 年に小型機船底びき網漁業に従事。平成 17 年から山口県漁協新南陽市支店運営委員、平成 23 年から同支店運営委員長を務め、地域漁業者の中心的存在として長年活躍。特に小型機船底びき網漁業は豊富な知識と経験を有し、効率的な漁を行うための漁具改良や新規就業者の師匠も務め、3 人の若者を漁業者に育成。地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。

委員区分	推薦を受けた者又は応募した者									推薦した者				
	No	氏名	年齢	性別	職業	経歴	主な漁業種類	従事年数	漁業者又は漁業従事者	団体等の名称及び代表者名	設立目的	業務内容	構成員数 構成員の資格	推薦又は応募理由
	8	河内山 満政	59	男	漁業	昭和 55 年～ 小型機船底びき網漁業に従事 平成 17 年～ 山口県漁協向島支所 役員 平成 24 年～ 瀬戸内海海区漁業調整委員会委員	小型底びき網	40 年	○	吉佐統括支店水産振興協議会 会長 末富豊利	組員の生産力増進と漁家経営の向上を図る	漁業振興対策、流通改善対策、水産基盤の整備、漁業後継者対策、漁家経営安定対策、漁場環境対策	山口県漁協吉佐統括支店各支店 正組員 209 名	昭和 55 年に小型機船底びき網漁業に従事。平成 17 年から山口県漁協向島支所役員、平成 24 年に瀬戸内海海区漁業調整委員会委員を務めており地域漁業者の中心的存在として長年活躍。平成 24 年から周防灘三県連合海区漁業調整委員会委員、平成 28 年から伊予灘連合海区漁業調整委員会委員も務めており対県漁業調整にも尽力。小型機船底びき網漁業は豊富な知識と経験を有し、漁業後継者対策として新規就業者を受入れ着業させるなど指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	9	河野 直行	68	男	漁業	昭和 42 年 潜水器漁業に従事 昭和 62 年 宇部岬漁協 理事 平成 21 年 山口県漁協 理事 平成 24 年 瀬戸内海区漁業調整委員会 委員	潜水器漁業	53 年	○	宇部市漁業組合連合会 会長 河野直行	会員の連合共同の意識の強化を推進し、水産業の生産力の増強を図り、所属員の経済の発展を期する	知識の向上を図るための研修・一般情報の提供、漁業道徳の昂揚・漁業秩序の確保、水産動植物の繁殖保護、会員の親睦、その他目的達成上適当な事項	山口県漁協宇部統括支店各支店及び新宇部漁協 正組員 297 人	昭和 42 年に潜水器漁業に従事。宇部岬漁協潜水器実行組合長や同漁協理事を務め、平成 21 年から山口県漁協理事を務めるなど地域漁業者の中心的存在として長年活躍。特に潜水器漁業や流し刺し網漁業の操業実態や各種漁業の漁場利用調整に豊富な知識と経験を有する。地元漁業者からの信頼も厚く、本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	10	渡壁 勝則	61	男	漁業	昭和 58 年～ 小型機船底びき網漁業に従事 平成 25 年 新宇部漁協 理事 平成 28 年 新宇部漁協 小型機船底びき網実行組合長 令和 2 年 新宇部漁協 副組合長	底びき網漁業	37 年	○	宇部市漁業組合連合会 会長 河野直行	会員の連合共同の意識の強化を推進し、水産業の生産力の増強を図り、所属員の経済の発展を期する	知識の向上を図るための研修・一般情報の提供、漁業道徳の昂揚・漁業秩序の確保、水産動植物の繁殖保護、会員の親睦、その他目的達成上適当な事項	山口県漁協宇部統括支店各支店及び新宇部漁協 正組員 297 名	昭和 58 年から小型機船底びき網漁業に従事。平成 25 年に新宇部漁協理事、平成 28 年に同漁協小型機船底びき網実行組合長、令和 2 年から同漁協副組合長を務めるなど地域漁業者の中心的存在として長年活躍。特に小型機船底びき網漁業の操業実態や各種漁業の漁場利用調整に豊富な知識と経験を有する。地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員

委員区分	推薦を受けた者又は応募した者									推薦した者				
	No	氏名	年齢	性別	職業	経歴	主な漁業種類	従事年数	漁業者又は漁業従事者	団体等の名称及び代表者名	設立目的	業務内容	構成員数 構成員の資格	推薦又は応募理由
														員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	11	竹本 信正	68	男	漁業	昭和 51 年～ 小型定置網漁業に従事 昭和 55 年 厚狭漁協 監事 平成 2 年 厚狭漁協 理事 平成 17 年～ 山口県漁協厚狭支店運営委員 平成 28 年～ 瀬戸内海海区漁業調整委員会委員	小型定置網漁業	44 年	○	周防灘本山以西漁業 協調会 会長 大崎 進	会員の意識の強化を推進し、水産業の生産力の増進を図り、所属員の経済の発展を期する	知識の向上を図るための研修・一般情報の提供、漁業道徳の昂揚・漁業秩序の確保、水産動植物の繁殖保護、会員の親睦、その他目的達成上適当な事項	山口県漁協統括支店 各支店 正組員 151 名	昭和 51 年から小型定置網漁業に従事。昭和 55 に厚狭漁協監事、平成 2 年から同漁協理事、平成 17 年から山口県漁協厚狭支店運営委員及び同漁協組員資格審査委員を務めるなど、地域漁業の中心的存在として長年活躍。特に小型定置網漁業の操業を通じて、さらに平成 28 年から瀬戸内海海区漁業調整委員会委員も務めており、沿岸漁業の漁場利用に豊富な知識と経験を有する。青壮年部役員として資源管理を行いながら組員の所得向上を第一に魚貝類を増やす活動を自ら積極的に行うとともに組員に対しても指導しており組員からの信頼も厚い。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
学識経験委員候補	1	山田 歳彦	64	男	法人管理職	昭和 53 年 山口県漁連入会 平成 18 年 山口県漁協 参事 平成 27 年 山口県漁協 常務理事 平成 30 年 山口県漁協 専務理事	—	—	—	山口県漁業協同組合 代表理事組合長 森友 信	組員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、以て組員の経済的社会的地位を高める	水産資源の管理及び水産動植物の増殖、水産に関する経営及び技術に関する指導 等	正組員 3,140 名	山口県資源管理協議会委員を長年務め、山口県の資源管理に豊富な知識と経験を有する。山口県漁協柳井事業所勤務の経験を通じて山口県瀬戸内海東部の漁業実態・流通実態にも精通。山口県漁協参事や専務理事の経歴を通じて県内全体の漁業実態・経営実態にも精通。令和元年から山口県太平洋クロマグロ資源管理協議会会長を務めるなど、山口県漁業の資源管理並びに漁業経営の専門家として長年活躍。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	2	梅田 孝夫	70	男	法人管理職	昭和 47 年 山口県庁入庁 平成 17 年 山口県柳井水産事務所長	—	—	—	山口県漁業協同組合 代表理事組合長	組員が協同して経済活動を行い、漁業の	水産資源の管理及び水産動植物の増	正組員 3,140 名	昭和 47 年に山口県庁に水産技術職として採用。県内はもとより福岡県や大分

委員区分	推薦を受けた者又は応募した者									推薦した者				
	No	氏名	年齢	性別	職業	経歴	主な漁業種類	従事年数	漁業者又は漁業従事者	団体等の名称及び代表者名	設立目的	業務内容	構成員数 構成員の資格	推薦又は応募理由
						平成 19 年 山口県農林水産部 審議監 平成 22 年 山口県退職 平成 22-24 年 山口県漁業信用基金協会 理事長 平成 24-27 年 山口県栽培漁業公社 理事長 平成 28 年～ 瀬戸内海海区漁業調整委員会副会長 瀬戸内海広域漁業調整委員会委員 平成 31 年～ 山口県漁協吉佐統括支店 防府市場振興室 室長				森友 信	生産能率を上げ、以て組合員の経済的社会的地位を高める	殖、水産に関する経営及び技術に関する指導 等		県、愛媛県、広島県などの隣接県も含めた漁業操業や資源保護に関する漁業調整に長年携わっている。漁業者と連携し、ヒラメやマダイなどの種苗生産・放流・資源保護による栽培漁業の基礎作りを行うなお、資源管理や漁業制度、漁業経営に豊富な知識と知見を有する。平成 31 から山口県漁協吉佐統括支店防府市場振興室長を務めており、漁業実態にも精通。平成 28 年から瀬戸内海海区漁業調整委員会副会長、瀬戸内海広域漁業調整委員会委員も務めており、山口県漁業の資源管理や漁業経営の専門家として長年活躍。漁業者からの信頼も厚い。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に強い意欲を持っていることから適任である。
	3	大谷 誠	47	男	大学教員	平成 14 年 (独法) 水産総合研究センター 中央水産研究所 水産経済部研究員 平成 22 年 (独法) 水産大学校 水産流通経営学科准教授 平成 22 年～ 資源管理計画等推進委員会委員 平成 28 年～ 長崎県水産業経営支援協議会委員 平成 29 年～ 浜の活力再生プラン優良事例表彰選定委員 瀬戸内海海区漁業調整委員会委員	—	—	—	山口県漁業協同組合代表理事組合長 森友 信	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、以て組合員の経済的社会的地位を高める	水産資源の管理及び水産動植物の増殖、水産に関する経営及び技術に関する指導 等	正組合員 3,140 名	宇部地区や田布施地区等の漁村地域の就業構造や担い手育成、瀬戸内海の主幹漁業である小型機船底びき網漁業の経営分析、ハマヤトラフグ、サワラなどの資源管理や流通実態の研究に長年携わっており、豊富な科学的知見を有し、山口県瀬戸内海の漁業に精通。平成 29 年から瀬戸内海海区漁業調整委員会委員を務めるなど山口県の漁業経営や担い手育成に関する専門家として長年活躍。漁業者からの信頼も厚い。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に強い意欲を持っていることから適任である。
中立委員候補	1	小林 亨	43	男	弁護士	平成 14 年 弁護士登録 平成 17 年 広島県弁護士会入会 平成 19 年 山口県弁護士会入会 平成 30 年 山口県弁護士会副会長 令和元年～ 山口県弁護士会災害対策委員会委員長	—	—	—	山口県弁護士会 会長 上田和義	弁護士及び弁護士法人の使命及び職務にかんがみ、その品位を保持し、弁護士及び弁護士法人の事務の改	会員である弁護士及び弁護士法人の指導、連絡及び監督に関する事務	山口地区、下関地区、周南地区、宇部地区、岩国地区、萩・長門地区 合計 179 名 法人会員 18 法人	平成 30 年度副会長、令和元年度から災害対策委員会委員長などの重要な役割を務めるなど長年活躍。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向けて中立委員と

推薦を受けた者又は応募した者										推薦した者				
委員区分	No	氏名	年齢	性別	職業	経歴	主な漁業種類	従事年数	漁業者又は漁業従事者	団体等の名称及び代表者名	設立目的	業務内容	構成員数 構成員の資格	推薦又は応募理由
補											善進捗を図るため、会員である弁護士及び弁護士法人の指導、連絡及び監督に関する事務を行う			しての活動に高い意欲を持っており、公平・公正な立場で積極的な発言が期待できることから適任である。